

作物ごとの使い方

●は種時播溝に1回

作物名	適用害虫名	希釈倍数・使用量
かぶ、非結球あびらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)	アブラムシ類、キスジノミハムシ	6g/m ²
なばな類、ほうれんそう	アブラムシ類	
だいず	フタスジヒメハムシ	
しゅんぎく、にんじん	ハモグリバエ類	9g/m ²

●定植時植穴に1回

作物名	適用害虫名	希釈倍数・使用量
キャベツ、はくさい	アブラムシ類	2g/株
	コナガ、アオムシ	2~3g/株
	ハイマダラノメイガ	3g/株
ブロッコリー	アブラムシ類、コナガ	2g/株
かぼちゃ	アブラムシ類、コナジラミ類	2g/株
メロン	アブラムシ類	1g/株
	コナジラミ類	1~2g/株
いちご	アザミウマ類、ハモグリバエ類	2g/株
	ワタアブラムシ	0.5~1g/株
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9g/m ²

●は種時播溝、定植植穴1回

作物名	適用害虫名	希釈倍数・使用量
チンゲンサイ	アブラムシ類、キスジノミハムシ	6g/m ²

●生育期1回

作物名	適用害虫名	希釈倍数・使用量	使用時期
さやえんどう	ハモグリバエ類	9g/m ²	生育期(但し、収穫開始14日前まで)
オクラ	アブラムシ類		

●その他

作物名	適用害虫名	定植植穴*は種時	生育期(使用可能な収穫前日数)	本剤の使用回数
だいこん	アブラムシ類	6g/m ² *播溝	—	播溝1回、全面1回、 生育期1回
	キスジノミハムシ	4~6g/m ² *播溝 9g/m ² *全面	6g/m ² (30日)	
きゅうり	アブラムシ類、コナジラミ類	1~2g/株	1g/株(14日)	定植時1回、生育期1回
	アザミウマ類、ハモグリバエ類	2g/株	—	
すいか	ワタアブラムシ	2g/株	2g/株(21日)	定植時1回、生育期1回
トマト、 ミニトマト	アブラムシ類	1g/株	1g/株(前日)	定植時1回、生育期2回
	コナジラミ類	1~2g/株	1g/株(前日)	
	ハモグリバエ類	1~2g/株	—	
ピーマン	アブラムシ類	1g/株	1g/株(前日)	定植時1回、生育期2回
	アザミウマ類	1~2g/株	—	
なす	アブラムシ類	1g/株	1g/株(前日)	定植時1回、生育期2回
	コナジラミ類	1~2g/株	1g/株(前日)	
	アザミウマ類、ハモグリバエ類	1~2g/株	—	
とうがらし類	アブラムシ類	1g/株	1g/株(14日)	定植時1回、生育期1回
	アザミウマ類	1~2g/株	—	
ねぎ	アザミウマ類、ハモグリバエ類	6g/m ²	6g/m ² (3日)	定植時1回、生育期2回
花き類・観葉植物	アブラムシ類	1g/株(但し、1m ² あたり30gまで)	20g/m ²	定植時1回、生育期4回の合計5回 または生育期5回の合計5回
	コナジラミ類	1g/株(但し、1m ² あたり30gまで)	—	
ガーベラ、きく	マメハモグリバエ	2g/株(但し、1m ² あたり30gまで)	—	—
作物名	適用害虫名	希釈倍数・使用量	使用時期	本剤の使用回数
つつじ類	ツツジグンバイ	6g/m ²	発生初期	5回以内

●ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。
●使用後の空袋は良くたたいて中身を完全にだしてから環境に影響のないよう適切に処理する。

詳しくは製品ラベルをご覧ください。

スターガード是三井化学アプロ(株)の登録商標

販売元



株式会社 エムシー緑化
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-9-1
TEL 03-5290-2956 FAX 03-5290-2957

簡単!パラパラまくだけ!

スターガード®粒剤

浸透移行性殺虫剤

1 毒性が低く、作物への薬害も生じにくい

2 イヤなニオイがほとんどない

3 茎や葉まで速やかに行き渡る

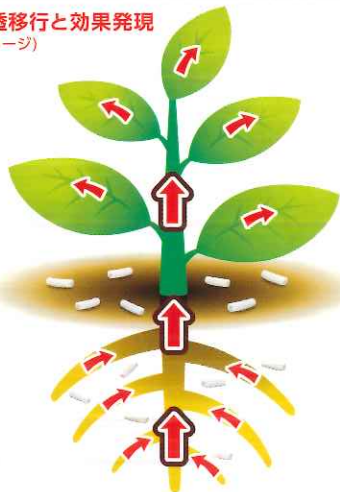
4 防除困難なハモグリバエ・アザミウマ・

アオムシ・コナガ・アブラムシなど同時に防除



1 スターガード粒剤の特長と有効成分

浸透移行と効果発現 (イメージ)



浸透移行性で植物体内に行きわたり、微小な害虫や、葉にもぐりこむ害虫にも効果を発揮!

有効成分が植物体内を速やかに浸透移行して、茎や葉に到達します。発見しづらく防除も難しい微小害虫や、潜葉性害虫への対策に効果を発揮する殺虫剤です。

多くの作物に農薬登録があり、花き類にも使えます!

多くの野菜で使用でき、マイナー作物・地域特産作物にも広範囲に対応していますので(右下の表をご覧ください)、使用者のニーズに幅広く対応できます。バラなどの「花き類」・「観葉植物」・「つつじ類」にも使えますので、ガーデニング等にも重要する殺虫剤です。

毒性が低く、作物への葉害も生じにくい!

ほ乳類・魚類・鳥類に毒性が低い化合物です。また、作物への葉害も生じにくく、扱いやすい殺虫剤です。

難防除害虫を含む、多くの害虫に効果を発揮!

アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類、コナガ、アオムシなど多くの害虫を、効率的に同時防除できます。

選べる処理時期!

多くの作物で、「定植時」と「生育期」の処理時期が選べます。

2 こうなる前にスターガード

潜葉性害虫への対策 (ハモグリバエ類)

■ ハモグリバエ類による加害の例



きゅうり・トマト・ミニトマト・なす・メロンなどを加害するハモグリバエ類(エカキムシ)は、幼虫が葉肉に潜りこんで加害するため、散布剤で防除しにくい害虫です。また、観賞用の植物においては美観を損ねる原因にもなります。スターガードは有効成分が植物体内を浸透移行するため、葉肉に潜りこんだハモグリバエにも効果を発揮します。

微小害虫への対策 (コナジラミ類・アザミウマ類など)

■ 葉上に寄生したコナジラミ



■ アザミウマ類の大量発生による作物加害



1mm前後の成虫が、さらに微小な卵をうみつけるコナジラミ類やアザミウマ類は、発見しづらく対策が困難な害虫です。また、作物によってはウイルス病を媒介することもあります。微小害虫対策にも、スターガードをご活用ください。

重要害虫の同時防除 (キャベツ・バラの例)

■ キャベツ菜に大量発生したコナガ



■ バラに発生したアブラムシ



短期間で増殖し、作物を加害するコナガとアブラムシ類には、定植時の防除で初期発生を抑えて、密度を低く保つのがポイントです。スターガード粒剤は、キャベツ・はくさいのアブラムシ類・アオムシ・コナガ・ハイマダラノメイガ対策に活用できます。

3 スターガード粒剤の「は種時」の使い方

- ①うねを作り溝を作る
- ②スターガードをまく
- ③スターガードと土を混ぜて..
- ④溝を作り種をまく



使用量の目安

スターガード粒剤 1gの目安

プリン等用の使い捨てスプーンを使用した場合



	ハモグリバエ (9g/m ²)	キスジノミハムシ (4~6g/m ²)	アブラムシ (6g/m ²)
にんじん しゅんぎく	×9杯/m ²		
かぶ		×4~6杯/m ²	×6杯/m ²
だいごん		×6杯/m ²	×6杯/m ²
ほうれんそう		×6杯/m ²	×6杯/m ²

4 スターガード粒剤の「定植時/生育期」の使い方

定植時に植穴土壌混和



生育期に株元散布



POINT!

株元散布を行う際は、処理直後に灌水してください。(有効成分の速やかな吸収を助けます。)

主な作物の定植時/生育期の使用回数

平成22年6月23日現在の登録内容に基づき作成しております。ご指導にあたっては、製品ラベルの記載内容をご確認ください。

作物名	適用害虫名	使用タイミングと使用回数		スターガードの総使用回数*
		定植時 植穴土壌混和	生育期 株元散布	
きゅうり	コナジラミ類	1~2g/株(1回)	1g/株 但し、収穫14日前まで(1回)	定植時1回+生育期1回=最大2回
	アブラムシ類	1~2g/株(1回)	—	
	ハモグリバエ類	2g/株(1回)	—	
すいか	アザミウマ類	2g/株(1回)	2g/株 但し、収穫21日前まで(1回)	定植時1回+生育期1回=最大2回
	ワタアブラムシ	2g/株(1回)	1g/株 但し、収穫前日まで(2回)	
なす	コナジラミ類	1~2g/株(1回)	1g/株 但し、収穫前日まで(2回)	定植時1回+生育期2回=最大3回
	アブラムシ類	1g/株(1回)	—	
	アザミウマ類	1~2g/株(1回)	—	
トマト・ミニトマト	ハモグリバエ類	1~2g/株(1回)	1g/株 但し、収穫前日まで(2回)	定植時1回+生育期2回=最大3回
	コナジラミ類	1~2g/株(1回)	—	
	アブラムシ類	1g/株(1回)	—	
ピーマン	アブラムシ類	1g/株(1回)	1g/株 但し、収穫前日まで(2回)	定植時1回+生育期2回=最大3回
	アザミウマ類	1~2g/株(1回)	—	
とうがらし類	アブラムシ類	1g/株(1回)	1g/株 但し、収穫14日前まで(1回)	定植時1回+生育期1回=最大2回
	アザミウマ類	1~2g/株(1回)	—	

花き類のアブラムシ類なら、定植時1回+生育期4回の最大5回*使えます。

生育期だけの使用なら最大5回*まで使えます。

*ジノテフランを含む殺虫剤を、スターガードのみ使用すると仮定した場合の総使用回数です。